

高齢者インフルエンザ

新型コロナウイルス感染症

定期予防接種のお知らせ

(住民税 課税世帯の方)

＊予防接種を受ける法律上の義務はありません、ご本人が接種を希望する場合に限り、接種を行います。

対象となる方

- ① 接種日現在、65歳以上の方（64歳の方は65歳の誕生日の前日から接種できます。）
- ② 接種日現在、60歳以上65歳未満の心臓・腎臓・呼吸器障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害で身体障害者手帳 1 級の方



接種期間・接種費用・接種場所

	高齢者インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
接 種 期 間	令和8年10月1日(木)から 令和9年1月31日(日)まで	令和8年10月1日(木)から 令和9年3月31日(水)まで
接 種 費 用	2,500円	2,500円
接 種 場 所	「令和8年度 台東区高齢者インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防接種実施協力医療機関一覧」掲載の医療機関 ●医療機関により予約が必要な場合があります。必ず事前に確認してください。 ●23区内の協力医療機関でも受けられます。ご希望の方は、各区の保健所か接種する医療機関に直接お問合せください。	
そ の 他 の 注 意 事 項	●上記費用で接種できるのは1回のみです。2回目の接種を希望する場合は、全額自己負担となります。 ●接種日時点で台東区から転出した場合、この予診票は使用できません。	

インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳やくしゃみのしぶき（飛沫）を吸い込んだり、ウイルスが付着した手で口や鼻に触ることにより感染します。症状は、のどの痛み、鼻水、咳、嘔吐や下痢などの感冒症状だけでなく、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの強い全身の症状を伴います。また、気管支炎、肺炎、脳炎や脳症などの重い合併症を併発し、死亡することもあります。体力や病気に対する抵抗力が弱い高齢者や、肺、心臓や腎臓などに慢性疾患のある人は、特に注意が必要です。

新型コロナウイルス感染症とは

感染者の咳やくしゃみ等によって排出されるウイルスを含む飛沫（しぶき）や、飛沫を含む空気を吸い込むことで感染します。また、ウイルスが付着した手で、自分の鼻や口、目を触ることによっても感染します。症状は、発熱や咳、のどの痛み、鼻水や全身のだるさ、頭痛等で、約8割の方は軽症で治ります。その一方で、高齢者や心臓や呼吸器等に持病がある方では、重症化リスクが高いことが分かっており、重症化すると入院治療が必要となり死亡する場合があります。

ワクチン接種の効果

それぞれの感染症にかかった場合に、入院や死亡などの重症化を予防する効果が認められています。

【裏面も必ずお読みください】

副反応について

接種後に注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等がみられることがあります。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復します。稀な頻度でアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が起こることがあります。もし、アナフィラキシーが起きたときには、医療機関ですぐに治療を行うことになります。

接種前の注意

各予防接種について、効果や副反応のリスクをよく理解したうえで接種をするか判断してください。気にかかることや分からないことがあれば、接種を受ける前に担当の医師にお尋ねください。予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大事な情報です。接種を受ける方ご自身で記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。（体温は医療機関で接種前に測ります。）

予防接種を受けられない方

- (1) 明らかに発熱のある方（37.5℃以上）
- (2) 重い急性疾患にかかっていることが明らかな方
- (3) 今回受ける予防接種または予防接種に含まれる成分で、アナフィラキシー（接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応）を起こしたことがある方
- (4) その他、医師に接種するには不適当な状態と判断された方



主治医に相談しなくてはならない方

- (1) 今までにけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある方
- (2) 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気などで治療を受けている方
- (3) 過去に免疫不全と診断されている方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- (4) 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギー症状が疑われる症状が出た方
- (5) ワクチンに含まれる成分に対してアレルギーがあるといわれたことがある方
- (6) 鶏卵、鶏肉等に対してアレルギーがあるといわれたことがある方【インフルエンザワクチン】
- (7) 抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または、凝固障害のある方【新型コロナワクチン】

ワクチンの同時接種について

インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンの同時接種は、医師が特に必要と認めた場合に実施できます。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

接種後の注意

- (1) 接種後30分位は、アナフィラキシーなど急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- (2) 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすらないようにしましょう。
- (3) 接種当日は、激しい運動や過度の飲酒は避けましょう。
- (4) インフルエンザワクチンの副反応の多くは、24時間以内に出現しますので、特にこの間は注意してください。また、新型コロナワクチンでは、頻度としてはごく稀ですが、ワクチン接種後4日程度の間に、胸の痛みや息切れ等の症状が見られた場合には、速やかに医療機関を受診してください。

健康被害救済制度について

この予防接種による副反応により、生活に支障が出るような障害を残すなど健康被害が生じた場合、予防接種法に基づく救済を受けることができます。（国が認定した場合に限ります。）